

時事新報

明治廿七年五月二日 水曜日
 第...號
 本報社在東京市本町二丁目
 電話...番
 代價...錢

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報の五月附録

時事新報は我が西洋醫學の進歩を世人に紹介し且は其道の奨励に供せんが爲め東京府下に於て此道に名ある大家十二名を撰び各家の所長に從て十二箇月を割當て其月に因る揮毫を請ひ之を極美極麗の彩色石版に印刷し毎月初旬新報の附録として購讀者に配布する事とし本年四月を以て始め來年三月に至るの趣向にて其第一回は去月五日を以て發行し世人の大喝采を博したり其第二回の發行は愈々

當月九日

松岡壽氏の挿秧

にして田家の婦女挿秧に忙しく一少女時に首を過して遙かに望む所あるの状、寫し得て眞に迫る此畫に對すれば身は忽ち田間に入りて耳に秧歌の聲細々たる響あるべし

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價(府外運送には此他後)

一號 貳圓五錢 一箇月 前金五拾錢 〇三箇月 前金壹圓四拾五錢 〇六箇月 前金貳圓八拾五錢 〇一箇年 前金五圓六拾錢 〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

前金 一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て還戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て期定する事と御承知被下度候

時事新報送送料

一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山津、南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國

一箇月 金六拾錢

三 北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸島

一箇月 金三拾錢

四 香港を經て郵送する亞細亞諸島、太平洋諸島、澳洲

一箇月 金六拾五錢

五 露領滿洲、清國諸島

一箇月 金三拾五錢

一 行	二 行	三 行	四 行	五 行
一 日以上	二 日以上	三 日以上	四 日以上	五 日以上
...

廣告料定價 時事新報の廣告料は額定定價の通り申受くる者なれども取次人の内には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を斷絶する事もあるべき旨に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

本社(寄稿)付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より

時事新報

養蠶の前途危むに足らず

養蠶製絲業の逐年漸く振起し來りたるは我輩宿昔の持論と若々相一致するものにして將來も亦ますます一發達せんものと願はしけれども斯く隆盛を催はすと共に事情不案内の人々に於ては却て其前途の成行を氣遣ひ或は今後大に衰微するものとあらば後悔先に立ち難しとて依然舊來の農作を墨守し麥田を變じて桑園となすが如きは先づ以て差控ふる者比々として然り誠に堪へ難き次第なれば此等の人々の爲めに我輩の所見を陳べ其決斷に資するも亦無益に非ざる可し今世界に於ける生絲の需要は暫く措き北亞米利加一國に就て之を見るも凡六千萬の人口中絹布を身に纏ふ者幾人あるや日本に於ては極めて下等な非ざるよりは大抵多少の絹を用の中等上等に至ては春夏秋冬、絹衣を常にして又その外に幾種となく着替を用意し夜具に至るまでも絹に非ざれば暖かならずなせ云々其有様は洵に絹衣の民として視る可き程なれども彼國民に在ては從來毛織物を專用したるものとすれば絹の如きは中々容易に得るものと能はずして一枚のハンカチーフをも所持する者甚だ稀なり然るに其毛布と絹布とを衣服に用ひて比較すれば外見は申すに及ばず體に透みて快きほど同日の談にあらす一たび絹を纏ひたる者にして復た他に移る能はざるは東洋も西洋も人氣に異なる所なくして絹に對する需要は唯増すの一方あるのみ此需要を充して假令日本人の如くならざるも絹布を普及せしむるを得たらば今日の生絲産出高の如きは實に九牛の一毛に過ぎず況んや米國の盛大豊富なる人口は次第に増加して生活に次第に程度を高め養蠶を養蠶とせざるの有様なれば衣類等の購買力も遂に日本人民に超過して廣大無量と云ふも亦敢て不可なきが如し左れば米國を得意とするのみにて日本も養蠶は前途を膨脹するを憂ふるに足らざれども或は養蠶は我國專有の物産に非ざるが故に他の競争を如何せんとして運送する者なきにあらす成程米國にても近來頻りに養蠶を奨励する由なれば蠶の物たる有生の活物なれば之を飼養するには器械の力に備るも能はずして是非とも人力を用ひるの外ある可らず既に人力とあれば彼の高き賃銀を拂はざる可らざるが故に如何にして我が養蠶業に特抗して

官報

勅令 内務大臣 伯耆井上馨

明治二十七年四月三十日

一 警察官の職務

二 警察官の資格

三 警察官の懲罰

四 警察官の退職

五 警察官の死傷補償

雑報

○山陽鐵道開通 去る二十六日の出水に一時不通となりたる山陽鐵道は一昨日より開通

○銀行設立の計畫頻々たり 大坂西區觀音に資本金二十五萬圓を以て觀銀行なるものを設立し肥料取引所に關する爲換其他銀行一般の業務を營さんとするの計畫ありて去る二十七日發起人會を開き創立萬圓の協賛を爲したれば不日其筋(稟請)すべし又同地天王寺にては近來土地の騰貴したると共に亂賣の風習盛んなるにより之を保護するの目的を以て資本金五十萬圓の銀行を設立せん有志者は頻に奔走中なりと云ふ

○大坂肥料取引所設立 二派に分れたるが爲めに引所設立出願の件は今回八日大坂府廳を經て再び願人は双方合して六十九名賣

○太田鐵道の近況 敷設は之まで傍々しき運びに大坂を始め敷地買戻判及道各村長及び有志者に依頼し地買入れも殆んど完了するに工事に着手するの準備を爲すに式を擧ぐるよし又社長佐佐木其外各國品購入の件に付きなるが工事に着手の上は成の運びに至らしむべき決定

○夢賦眞賦(佛國) 譯者云く此譯文中、詞には通用に近き言語を用いたるに之は條には能く之を應じし不備なるを答ひるものと云ふ

第一回 舞踏會の...

○勅令 内務大臣 伯耆井上馨

明治二十七年四月三十日

一 警察官の職務

二 警察官の資格

三 警察官の懲罰

四 警察官の退職

五 警察官の死傷補償

○勅令 内務大臣 伯耆井上馨

明治二十七年四月三十日

一 警察官の職務

二 警察官の資格

三 警察官の懲罰

四 警察官の退職

五 警察官の死傷補償